

新校舎 のようだ

夏休みも終わり、二学期が始まりました。今学期は、登校するのが本当に楽しみでした。なぜなら、友達に会えるほか校舎改造という大きな工事があったからです。僕は、「どんな校舎になるだろう」と、心待ちにしていました。

九月二日、校舎を見た時、びっくりしました。新校舎のようでした。外壁は白く塗装され、教室の天井や床も新しくなっています。書架も増え、すっきり明るくなっていました。授業も心地よく受けられると思いました。



一中三年 山田貴史君



生徒用ロッカーもきれいになった



このすばらしい改造工事の際には、工事関係者の力があつたからこそだと思えます。この暑い夏に働いてくれたのですから、感謝しなくてはなりません。「ありがとう」ございました。

甘菜第一中学校の改造、これと同じに私たちの清潔意識も新たにして、いつまでもきれいにしていきたいと思えます。



床も張りかえられ気持ちいい



下足箱もこらんとおひ

今後の学習内容の充実 課題は

校長／中川製薬二さん 教頭／高橋孝行さん



関係者のみなさんの献身的な努力によって、短期間のうちに、明るく立派な校舎に変えていただき、とても感謝しています。

隔々まで手の行き届いた工事は、新築されたのと同じようで、職員も子供たちも心機一転、がんばろうとそんな気になってくれました。特にありがたかったのは夏休み中に工事を完成して

いただき、授業時間を一時も欠くことなく二学期が迎えられることです。

そして、これからの課題は学習活動の充実をどう図ってゆかかと言うことです。学校と地域が一体となって頑張りたいと思います。

また、九月二十九日には地域のみなさんに、きれいな新校舎を見ていただきました。